

Saiyu Fund

[西遊基金]

令和4年10月29日

3年ぶりの開催!

長崎大学ホームカミングデー2022

文教キャンパスの文教スカイホールにおいて11回目の長崎大学ホームカミングデーを開催し、本学の卒業生や在学学生、教職員など多くの方々にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、2020年、2021年と開催できず、3年ぶりの開催となった今回は、学園祭との同時開催とし、賑やかな母校の姿を卒業生の皆さんにご覧いただくこともできました。

講演会では、本学経済学部のOBであり、TOTO株式会社代表取締役会長でもある喜多村円様を

講師にお迎えし、『どうしても親切が第一』と題してご講演いただきました。TOTOの創業理念と継承、それに基づいた経営戦略や使命、さらにそれらを社員が共有することの重要性についてお話しされ、中でも「それぞれの意思を大きく束ねるのが理念 理念の先にある夢(ありたい姿)を語ることが経営」という言葉は印象深く、参加者からも、「リーダーとしての言葉が身にしみました。」「とても興味深いのでした。ぜひ学生にも聞かせたい内容です」など、多くの感想が寄せられました。

会場を、学食でおなじみの生協食堂に移して開催した卒業生・在学生交流会では、学生によるアトラクションも楽しみつつ、卒業生同士の交流、情報交換はもちろん、在学生と卒業生との交流も見られました。

ホームカミングデーは令和5年度も開催予定です。いち早く開催案内を皆さまにお届けするため、是非、校友会メールマガジンにご登録ください。下記2次元コードから登録できます。校友会メールマガジンでは、毎月長崎大学の注目情報や教育・研究成果、イベントのご案内をしています。



山下俊一名誉教授(左)が校友会賞受賞。



喜多村円TOTO株式会社代表取締役会長による講演会。



キャンパスツアー。



交流会の様子。

当日のスケジュール

15:00	開会、校友会会長あいさつ
15:10	長崎大学の現状報告
15:40	校友会賞表彰
15:50	西遊基金 高額寄附者への感謝状贈呈
16:00	講演会
17:00	文教キャンパスツアー
17:30	卒業生・在学生交流会
18:30	閉会

ホームカミングデーは令和5年度も開催予定です!

いち早くホームカミングデーの開催案内をお届けします。校友会メールマガジンにご登録ください。



令和4年11月11日

長崎大学東京交流会を開催しました



千代田区大手町のKKRホテル東京で開催。

本学とご縁のある関東地区の卒業生や共同研究企業の代表者などをお招きし、長崎大学東京交流会を開催しました。初めての開催となるこの交流会は、日頃のご支援に対する感謝とともに、教育・研究活動に

関する現況や取り組み等を紹介し、交流を通じて本学へのご理解を一層深めていただくことを目的に企画したものです。

第1部では、河野茂学長から、学生・留学生数や就職状況等の動

向、ウクライナ避難民学生受入状況、BSL-4施設竣工などの長崎大学の現状や、長崎スタジアムシティへの大学院(情報データ科学分野)の入居等といった今後の展望について報告を行いました。

続く講演会では、熱帯医学・グローバルヘルス研究科長の北澤教授に、「今こそ長崎から世界へ—感染症研究の基礎、そして臨床—」と題した講演をいただきました。本学のコスタ・アランチカ号における新型コロナウイルスのクラスター対応や感染症研究・教育などの取り組みと、5-ALAがミトコンドリアの機能を活性化させ抗ウイルス免疫反応を強化するのを突き止めるに至った経緯や5-ALAの今後の方向性など、

第2部では、西遊基金へ多大なご支援を賜りました、葉國重様・葉麗子様への感謝状贈呈式を執り行いました。その後、引き続き交流懇談会を開催し、和やかな雰囲気の中で、多くの方が交流し、親睦を深められ、盛況のうちに閉会となりました。

参加者アンケートでは、「産学官連携事業の展開に関する予定等を教えていただきたい」「長大と地域との連携など他のモデルになるような取り組みがあれば紹介いただきたい」「今回は長崎大学について知る良い機会となりました」などの意見・感想が寄せられており、本学の事業・取り組みについて皆様に興味を持っていただける機会となりました。

今後も県内外において、このような場を設けていきたいと考えています。

ししのごプロジェクト 「プラネタリーヘルスレポートカード」

苦勞の末に日本オリジナルのフォーマットが完成



ししのごプロジェクトの皆さん。環境科学部2年 村中瑠莉さん(前列左)、医学部医学科3年 川上日菜子さん、医学部医学科2年 佐瀬光雄さん(後列左)、医学部医学科3年 小浦穂生さん。

群馬県で行われた日本医学教育学会大会2022の旅費を支援していただき、取り組みに興味がある1年生を含む6人で参加することができました。他大学の先生方のお話を聞く機会にもなり勉強になりました。

ししのごプロジェクトは、社会課題の解決を目指す長崎大学の学生団体です。子育て支援、手洗い教育、性教育など、さまざまなプロジェクトを進める中、「プラネタリーヘルスレポートカード」に関する取り組みの活動費として、西遊基金が活用されました。プラネタリーヘルスレポートカードとは、大学内におけるプラネタリーヘルスの取り組みを、学生が調査・評価するというものです。これまでの活動は、欧米諸国の医学部生が中心でした。日本



滋賀医科大学の皆さんとの交流会の様子。

国内の大学では、2021年に長崎大学が初めて報告書を提出しました。「英語で書かれている質問フォーマットを、和訳するところから始めなくてはできませんでした。その後、医学科の先生方に質問メールを送り、回答をもとに評価を行い、その結果を再び英訳しました。大変な作業でしたが、学会への参加や他大学との交流にもつながりました。今後は学内をはじめ、全国の大学にも取り組みの輪を広げていきたいです」と、ししのごプロジェクトの皆さん。和訳した質問はプラネタリーヘルスレポートカード本部に認められ、同本部のホームページに掲載。2022年度は、環境科学部でも調査・評価活動を実施しました。

※プラネタリーヘルス 地球の健康が人の健康にもつながっているという考え方。

サークル活動支援基金の活用状況について

Choho vol.80でご紹介したサークル活動支援基金について、多くの反響があり、寄附のお申し出をいただいております。皆様からのご支援誠にありがとうございます。今回は実際にサークル活動支援基金を通じて、寄附を受け取った皆さんからのコメントを紹介いたします。



女子サッカー部

ナイター練習で活用できる 光るサッカーボールを購入予定



文教キャンパスのグラウンドにはナイター設備がなく、冬の期間は真っ暗な中で練習をしています。暗いと練習内容が限られ、十分な練習を行うことができません。今回のご寄附で光るサッカーボールを購入させていただき、今より暗い中でも質の高い練習を行うことができると幸いです。多くの方が応援してくださっていることに感謝し、来シーズンは全勝、無失点を目指して、日々の練習に精一杯励んでいきます。

全学男子バスケットボール部

バスケットボールやクレーラーボックスなど、部の備品を新調することができました。以前より数段良い環境で練習できることを嬉しく思っています。昨年11月に行われた長崎学連では準優勝することができました。これからは1部リーグ昇格を目指して頑張ります。この環境に感謝し、さらに上達していけるよう練習に励みます。

バスケットボール等 備品を新調



RONRock部

機材購入や ライブ資金に活用



寄附金に関しましては、バンド練習で使用するマイクやモニター、ドラムなどの機材や、ライブハウスでライブを行う際の資金の一部に利用させていただきたいと思っています。必要な機材は高額なものが多く、故障しても修理や新品購入が困難でした。新しい機材が使えることで、より良い環境で練習に集中することができます。ライブでも高いパフォーマンスにつなげることができ、嬉しく思います。機会がございましたら、ライブに足を運んでいただけると嬉しいです。

西遊基金

「西遊基金」は、長崎が長年にわたって培ってきた個性と伝統を基盤に、地域の発展から地球規模の課題まで、種々の問題を解決するための傑出した人材育成を目指した、長崎大学独自の修学支援、さらに教育・研究の幅広い支援を目指した基金です。

西遊基金に関する情報はこちらからご覧いただけます。

